

創刊のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。
このたび、桃山園を多くの方々に知っていただけるよう、広報誌『桃山新聞』を発行することになりました。
桃山園全体のイベントや介護方針などの情報発信をメインのコンテンツとして掲載していきます。
どうぞよろしくお願いいたします。(桃山園 広報委員会)

デイサービス・ショートステイのアクティビティ紹介

ご利用者の日々の生活が充実するよう、様々なレクリエーションやリハビリテーションを計画的に行っております。
ほんの少しですが、アクティビティ活動の様子をお伝えします。



デイサービスでは、天気の良い日に車で外出することが多くあります。
利用者さんからも好評で、リクエストも多くいただいております 🚗



ショートステイのレクリエーション
皆さんで机を囲んでのバランスゲームに挑戦！
たくさんの笑顔と笑い声であふれていました。
余暇活動に力をいれています(=^ω^)/



調理レクリエーションでクッキーを当園の栄養士と作っています!(^^)!
美味しくできました～調理レクは定期的開催しております☺



習字やパズル、タオルたみ・・・三者三様、それぞれが違うことに取り組まれています、意欲的に取り組まれていることは一緒です。一人ひとりが楽しい時間を過ごせるようお手伝いしていきたいと思います

新年を迎えて

あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。

本年も桃山園の理念の基、お一人おひとりに丁寧な対応を心掛け、“おもてなし”の精神でご利用者をお迎えしてまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

桃山園 施設長 櫻井仰介



デイサービス スタッフ紹介



デイサービス主任介護士

佐野明 (アキラ)

カもちでとっても優しい桃山園きつての癒しキャラ

休日は小学生の子どもと出かけたり、ゲームをしています



デイサービス生活相談員

橋本美希 (ミキ)

にぎやか大好き！でも利用者の方のことに関しては責任感は一歩！皆さんに信頼して相談されるよう今後も頑張っていきます



桃山園の各施設で盛大にクリスマス会が行われました。

介護の取り組み事例紹介

～身体拘束ゼロへの取り組み～

身体拘束は、利用者の生命を脅かすような問題行動があるような方に対して一時的に行動を制限するような措置を行い、危険を未然に防ぐために実施します。

昨年1月は、身体拘束実施者は3名いましたが、今現在では身体拘束ゼロを達成しました。

そこで、当園の身体拘束解消の取り組みをご紹介します。

取組み事例1

血液感染の可能性がある方で、手のかさぶたをすぐにはがしてしまい出血をくり返す利用者がありました。関係する職員が知恵を出し、なんとか身体拘束を解消できないか検討し続け、様々なことを試してきました。この方に対しては、空腹感の解消のために徐々に毎食の水分の提供量を増やしていきました。また、傷に意識がいかないように手先を使う遊具を購入し、使って頂きました。この結果、徐々に傷への意識が薄くなり、傷がきれいに治りました。これにより身体拘束解消となりました。現場職員の熱意とがんばりの賜物です。



ボランティアさんを募集！

桃山園では、趣味活動や利用者とのお話相手になっていただけるボランティアさんを募集しております。

囲碁・将棋、トランプなどのテーブルゲームや、音楽演奏、歌唱など多くのボランティアさんに参加いただいております。

お気軽にお問合せください。

利用に関する問い合わせ先

特別養護老人ホーム

ショートステイ	025 (271) 4101
デイサービスセンター	025 (278) 3582
ケアハウス	025 (278) 3581

利用に関する詳しい情報は、桃山園ホームページにも掲載しております。

ホームページでは、桃山園での日々の出来事や、レクリエーションなどをブログで公開しております。また、今月より、『特別養護老人ホーム』と『ケアハウス』の申込書もダウンロード可能となり便利になりましたので、そちらの方も是非ご覧ください。

社会福祉法人新潟臨港福祉会